

筆記 第1問題の勉強法

満点を狙う問題！

頑張ればすぐ結果が出る分野だ！

▶できるだけ時間をかけないように！スピード重視！
少し考えて分からなければすぐに次の問題へ！

知っているか、知らないか、
それだけ！無駄な時間浪費
は絶対避けよ！！

◆目標時間◆ 7問14点

5分



A 発音問題

※じっとしていてもこの問題は取れるようにはならない。
やるべきこと(頻出語アリ)をやるかどうかにかかっている。



**狙われる発音、出る単語は決まっている。
リストを完璧にマスターせよ！⇒音読へ**

※大切なことは口に出して発音してみること 同じ綴りで違う発音！

要確認

※知らない語が出てきても他の3語が分かれば「消去法」で正解可能

★本書pp.5-6の解説と単語を口に出して何度も発音してみて、p.11-12のリストを徹底的に読む。
同音異義語、同綴異音語も押さえる。黙字もチェック。『2012重要問題演習英語』pp.136-138の表も確認。

◎綴りに不似合いな発音をする語は要注意！！

※母音と子音が2問ずつ出題 母音が苦手！

【母音】 a (ancient, manager, calm, call)	au (author, laughter)	e (previous, energy)	母音と子音が出題
ea (breathe, breath, break) 重要	ear (beard, bear, heart)	i (wisdom, delight, fatigue)	
o (control, hot, lost, oven)	oa (approach, abroad) 重要	※原則と例外「オウ」か「オー」か？ oo (food, wood, flood)	
ou (doubt, shoulder, southern, bought)	ow (allow, arrow)	u (discuss, refuse, rude, bush, bury, busy)	
【子音】 ch (attach, stomach, machine) 重要	gh (height, tough, ghost)	ng (sing, finger) 要注意！	
ss (missile, dessert, pressure)	th (thought, though) 重要		

[対策] ★A、Bともに過去問を古い年度までさかのぼれ！(複数回出題)
模試、私立大学の発音・アクセント問題も参考になる。
同じ単語が何度も出題されていることに気づくハズ。難問は無視。

知っているか、知らないか、それ
だけ！無駄な時間浪費は避けよ
割り切ることも大切

★あまり意識
されていない
微妙な違いが
ツボ！

B アクセント問題

※ルールをマスターした後で、頻出語(出るものは決まっている)を徹底的に練習。

★2009年度以降は音節を自分で区切り分ける必要あり。まず母音(a,i,u,e,o)を○で囲め！出題方法の変更も視野に



**①基本ルールをマスター→②狙われる頻出語へ
リストを完璧にマスターせよ！⇒音読へ**

※大切なことは実際に口に出して発音してみること 読めない単語は覚えられない！

要確認

アクセントは
母音にあり

【代表的なアクセントルール】 語尾に注目するノダ！ ★詳細は本書pp.6-7参照 めいぜんどうご 「名前動後」にも注意

- 「双子」の法則・・・連続する母音 (-ee-, -oo-) の箇所が強い [例外] coffee, committee
- 「三味線語」ルール・・・「シオン」(-sion) 「シヤン」(-cian) で終わる語はその1つ前が強い
- 「イクイク」ルール・・・-ic, -ical で終わる語はその1つ前が強い [例外] politic, politics
- 「ヤンヤンヤスヤントヤリテエ」の法則・・・-ion, -ian, -ious, -ient, -ial, -ity で終わる語はその1つ前が強い
- 「見て見て」ルール・・・-meter で終わる語はその1つ前が強い ● 「オロジーの上」・・・-ology にアクセント
- 「渋いから痛え」の法則・・・-sive, -ical, -ity で終わる語はその1つ前が強い
- 「子チビ母チビ」の法則・・・「子音+ tive」は1つ前 「母音+ tive」は2つ前が強い
- 「あぶる朝へと合図」・・・-able, -ous, -ate, -ize で終わる語はその2つ前が強い ※中でも-ate が頻出！
- 複合名詞 (名詞+名詞) は前の名詞の方に強勢がある (出題例) mountain bike, engine trouble, health club

長い綴りの
単語が狙
われるゾ！

ルールは大きな武器だ！

有効活用！



コレだけ！

◎基本ルールを
知っているところ
んなに楽チン！

- ①未知の単語に出会っても怖くない
- ②迷った時に威力を発揮
- ③ルールで絞り込んで「消去法」が効果的

★「カタカナ語」にも要注意！

※本書p.13のリスト参照

※特に日本語とズレているものには要注意！(原則は前) (出題者の狙い)

《大原則》読めない単語は覚えられない！音読せよ！！

●語彙力がないとセンター試験は乗り切れない！

意味だけでなく音も含めて丸ごと覚えてしまえ！

▲日頃から一つ一つの単語を、耳と口で発音とアクセントも含め正しく覚える他はない！最良の勉強法！

筆記 第2問題の解き方

◆目標時間◆16問41点

A 文法・語法・語彙

知っているか、知らないか、それだけ！無駄な時間浪費は避けよ。ある程度捨てる覚悟も…

10分



意味をよく考え1問20秒で解くべし！

●狙われる事項は決まっている！

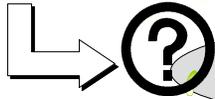
本書p.14-15 確実に差がつく問題 → 演習量(何題解いたか)がモノを言う分野

動詞、時制、分詞、動名詞、不定詞、関係詞、仮定法、接続詞、助動詞、比較などを重点チェック！

紛らわしい形容詞、意外な意味を持つ単語、基本動詞を用いた熟語 も要注意！1つの單元ごとにツブしていくのが勉強法

過去問が一番のデータベースだ！ → 徹底的に繰り返してマスターせよ

語彙・語法問題の比率が高くなる傾向に…



なぜそれが正解になるのか？

圧倒的に「動詞」が狙われる！

← 知識で解くか思考で解くか？

★文脈にも注意

◎「自分で自分に声を出して解説できるまで」しつこくしつこく！分かるまで！自分はどこにつまずいたのか？

※慣用表現や定型表現はできる限りたくさん覚える 単語集・熟語集は1冊を完全にあげることに

★本書pp.16-43のAの絶対ポイントは徹底的に復習するべし！<頻出> 難問は無視せよ！

『ヴィンテージ』『ネクストステージ』『アップグレード』の問題を徹底的に演習！ 質より量がモノを言う

★『2012重要問題演習英語』p.139の「意外な意味を持つ単語リスト」も押さえておく

毎日10分程度の制限時間を設定して30~50題を解いてみる 「英語検定」の問題も参考になるゾ

基本を大切に！

質より量が大切

B 会話文補充

「空所の直後(前)の相手の応答」がカギ！

鉄則

空所の後ろの発言(そして前の発言)とのつながりを見抜け！「消去法」も有効 → 検算を忘れない！

★会話文特有の口語表現を暗記 本書p.46参照→挨拶・勧誘・提案・依頼・応答・謝罪・許可・電話 会話の流れによる正誤判断

『2012重要問題演習英語』pp.28-29の頻出口語表現もチェック 語彙力を増やすことも忘れずに！過去問がベスト！

対話文完成問題攻略の基本ルール

- ルール1！ 疑問詞(Wh-)で始まる疑問文 → Yes/Noで答えることはできない！
- ルール2！ Whatで始まる疑問文 → 名詞(句)で答える！
- ルール3！ Howで始まる疑問文 → 形容詞(句)か副詞(句)で答える！
- ルール4！ 依頼・勧誘・申し出・提案に対する答え方 → 「承諾」か「拒否」
- ルール5！ 親切的な発言・援助・ほめ言葉に対する答え方 → 「感謝の言葉」
- ルール6！ 空所の前後で同じ表現が反復されている場合 → 「聞き返し」！

⇒リスニング問題にも有益なルール

※代名詞が何を指すか？省略(主語+be動詞)にも注意

プラスイメージ(同意・賛成・賞讃) ニ マイナスイメージ(拒絶・反対・非難)に注目 「否定疑問文」は「肯定疑問文」に戻して考えよ

会話文問題の基本ルールだ！

相手のセリフ中に必ず問題を解くカギが



※意味をよく考えて！

C 語句整序

差がつく問題！

小さくつないで大きくまとめる！

★2009~10年度より文脈が与えられ、分かりやすくなった。2009年度より選択肢5個より6個に増えた。2010年度は1題だけ選択肢7個に、2011年度は3題すべて文脈なしの選択肢6個。

解き方

「動詞」の語法を聞いてくる → 文の組み立て能力

(1) 空所の前・後部分にヒントあり <空所の前後と選択肢から文の内容を推測して並べかえをしない>

(2) 構文を決定する(骨組み) 動詞→主語を決める <何を言おうとしているか？>

(3) 小さなかたまりをいくつか作ってみる(「選択肢減らしの術」) 8つのセットを意識せよ！

① (1)S+V (2)one's+名詞 (3)the/a(n)+名詞 (4)前置詞+名詞 (5)前置詞+V-ing

(6)助動詞+V (7)to +V (8)接続詞・関係詞+S+V... この8つのセットに着目だ！

(4) 意味が通るかどうか検算も <重要> → ズレはないか？確認

1問1分で解答が目安



② 二カ所ともマークすること。ここでズレる場合が…大問ごとに番号のズレはないか確認。

<後置修飾> 名詞は修飾されるものと思え！

名詞

(関係詞)

S+V

修飾語

問われているポイントを見抜け！

★大きなポイントは

S+V+O+C

※2つ以上の学習項目が盛り込まれていることが多い

後置修飾

100題ほど練習してみよう！コツがつかめるハズ

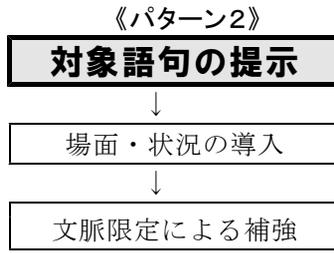
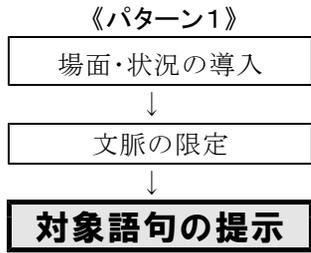
★語句整序で狙われる重要表現リスト & 『2012重要問題演習英語』pp.140-141も頭に入れておくこと。毎日3題ずつ解くだけでずいぶん違うゾ！ 「北高暗唱英文」の確認もしておこう。貯金がモノを言う！熟語も

筆記 第3問題A 語義類推問題の解き方

満点を狙う問題

★2007年度からの新傾向問題 未知の表現の意味を前後の文脈から読み取る

(1) 文章展開のパターン ※どちらのパターンでも問われる語や表現の意味は知らないことが前提だが知っていたらラッキー！



◆目標時間◆ 2問10点

2分



重要

下線部を空所と思え！必ず本文中に説明がある。それを探し出せ！知らない単語は本文前後の内容から推理だ！

- ★下線部の語句に関する(1)具体例、(2)言い換え、(3)対比表現、(4)因果関係(原因と結果)、(=文脈)に注目！
- ★会話のセリフは、感情表現を利用する！
- 同じ語句の繰り返しを避け「言い換える」のが英語の特徴



語と句が1題ずつ出題

※各問1分ずつで解答

(2) 解法のプロセス

＜概要の把握に重点！＞

要確認

※細部にこだわらずに英文全体の主旨を追え！(文脈の流れ)

1

テーマを把握し、テーマについての説明の展開を追え(指示語・代名詞に注意)

「誰」「何」がどうしているか？ どういう状態か？ (直読・速読)

重要

状況 の理解・・・「誰」「何」がどうしているのか？ どういう状況にあるのか？
いつ(when) 誰が(who) どこで(where)

★5W1Hの法則

何を(what) なぜ(why) どのように(how)

展開 の把握・・・事件・出来事の経緯と理解
・出来事がどのように展開しているのか顛末をたどれ
・登場人物の行動・心理の流れを読み取れくセリフ>
・具体例・対立する見解・事実の詳細を読み取れ

「木を見て森を見ず」にならないように！

④「木を見て木を見ることのできる」受験生がまず基本！

★ココに注目ダ！



2

テーマの展開を把握する

シグナルワードに注意！(「しかし」、「それゆえに」、「また」、「それでもなお」等) (「つなぎ語」)

具体例、対立する見解、出来事の展開、登場人物の行動や心理を読み取る

3

未知の表現を含む文はそのまま和訳してみよ
下線部の前後に着目しその意味を類推する！

下線部の意味は受験生が知らないことが前提

- ★発言の場合→その人の気持ちを表す言葉に着目
- ★発言でない場合→その語句に関する具体例に着目

英文中に複数のエピソードが含まれている場合にはそれらの出来事の共通点を一般化「根拠」はあくまで本文テキストの中に求める 「何となく…」で答えてはならない！

4

選択肢をよく吟味し、その意味を正確にとらえる 消去法も有効
選択肢を下線部に入れてみて、文意が成立するかどうかをチェックする(代入法)

<検算>

★英文読解力を問う問題



意味の推理
<推論能力>

★日頃の予習で未知の語句に出会ったときに、文脈からおおまかな意味を予想する習慣を！

◆やはり支えとなるのは単語力だ！

<< 単語勉強の姿勢は？ >> ①すきま時間の利用 ②「先へ先へ、前へ前へ」の姿勢

筆記 第3問題B 意見要約問題の解き方

★2008年度はパネルディスカッションから新聞記事の意見要約へ変更 2009年度以降は議論の要約に

(1) 文章の展開パターン

与えられる英文には一定の展開パターンがある。



◆目標時間◆ 3問18点

5分



英語展開の基本



概要・要点の把握

【序論】賛否を端的に述べる→【本論】理由・根拠・事例を示す→【結論】本論に基づく結論を述べる。当然「序論」と同じ内容

日本語の指示文を注意深く読む→大きなヒント(テーマ)→英文内容の概要

(2) 解法のプロセス

「何を言いたいのか？」をまとめる力が問われている

要確認

1

第一段落(冒頭)からテーマを把握 (何について意見を述べるのか? 立場を明確に)

テーマの把握

◆複数の異なる意見が必ず出る

★速く正確に読む訓練を怠らない

上位と下位で差がつく

2

段落の**第1文(冒頭)**と**最終文(末尾)**から意見の要点を把握

重要

要点の概要を把握

①賛成 ②反対 ③条件付賛成[反対] or 中立の3つに分かれることが多い

テーマ提示の繰り返しを見逃さない 「つなぎ語」がヒントに
個々の主張を補強する理由・結果を見逃さない

重要箇所にはマークしよう!

※発言の後半部分 [=まとめ] は特に注意

- キーワードとその書き換えを活用する
 - 具体例から「主張」を読み取る→立場を明確に!
 - 発言の冒頭に示される意見を見逃さない
 - 言い直して反復している記述には要注意くリフレインが叫んでる>
- ※中央部分はサラッと読み流す

3

選択肢の中から要点と同趣旨(「言い換え」を見極める)のものを選ぶ

正解の選択

因果表現には注意

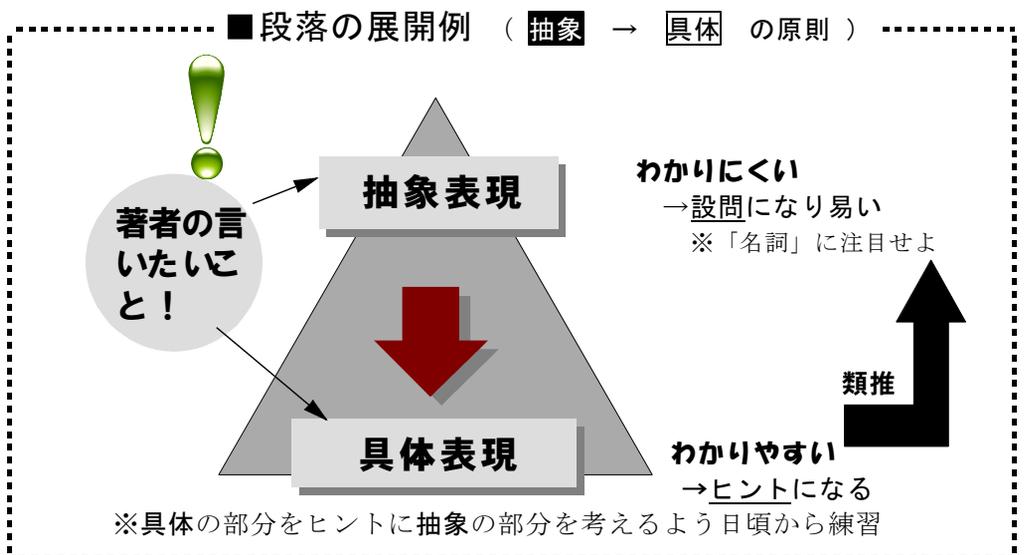
キーワードとその書き換えを活用する (判断の論理性と客観性)

④選択肢は本文中の表現をそのまま使わず、同意表現を用いることが多い
=「選択肢は本文とは異なった英語表現を用いて本文のまとめを表す」

＜主張＞を示す表現

- ①should/ mustなどの助動詞
- ②important/ necessary/essentialなどの形容詞
- ③I think/ I believe/ I'm sure/ In my opinionなど自分の見解を述べる表現
- ④逆接 (but/ however) の後
- ⑤in fact/ actually/ indeedなどの副詞 (語句) の後
- ⑥「例えば」「なぜなら」「第一に」の直前の英文

重要



◆やはり支えとなるのは単語力だ!

[ここで特別フォロー講座] 第3問題A、Bの解き方のポイント

速く読み、ざっくりと全体の内容をとらえる

ここは得点源だ！「文章作成力」が問われる

A. 語義類推

必ずヒント、説明が本文中にある！語彙問題ではなく読解問題だ！

- (1) 具体例
 - (2) 言い換え
 - (3) 対比
 - (4) 因果関係
- をヒントに！

ないしよ

- 下線部が **段落冒頭** → 解答の根拠は **段落の最後** が中心
- 下線部が **段落中央** → 解答の根拠は **下線部後**、**段落の最後** が中心
- 下線部が **段落末** → 解答の根拠は **下線部の直前** が中心

重要

位置の確認から ヒントはココにあり！

要確認

まずは下線部の位置を見て、ヒントの部分を確認した後、それを意識しながら最初から終わりまで普通に読むのだ！このやり方でやってごらん！
出題されている単語が品詞を変えて登場する場合もあるゾ。



● 下線部の位置でどこに注意して読んだらいいかが分かるようになっていくゾ！

B. 意見要約

発言者の意見・主張を読み取る→「言い換え」を探す



重要

第1文(冒頭)と 特に最終文(末尾)に注目！

◎日本語の指示文は「テーマ」

主題の提示 (主張)

主題の展開 (根拠)

主題の再提 (結論)

必ず注意して読むこと

■主張の三大展開パターン ◎◎◎◎

- ① 一般論 → but, however → **自分の意見**
S may [might] V. **But** S V. Some [Many]... **but** ~
It is said [People believe] that S V. **But** S V.
Of course [Indeed/ It's true/ Certainly] S V. **But** S V.
- ② **自分の意見** → **具体的な説明**
- ③ **具体例** → **therefore, thus** → **自分の意見**

＝＜筆者の主張＞を示す表現＝

- ① should/ must/ need/ have to/ ought to/ can/ 強調の do などの助動詞
- ② important/ necessary/ essential/ good/ bad などの形容詞
- ③ I think/ I believe/ I'm sure/ I hope[wish]/ I found In my opinion/ As for me/ As far as I'm concerned/ I like など自分の見解を述べる表現
I wonder/ I'm not sure/ It's doubtful など懸念を表す表現
- ④ 逆接 (but/ however/ yet/ still/ though) の後
- ⑤ in fact/ actually/ indeed などの副詞 (語句) の後
- ⑥ 「例えば」「なぜなら」「第一に」の直前の英文
- ⑦ appear/ seem/ look の後

＝「極端の法則」(裏技)＝

▶ 次のような極端な修飾語のついた選択肢はほぼ×のことが多い！「全て」「必ず」「絶対」「唯一」

- ① 100%系 _____
all, every, any, always, absolutely, invariably necessarily, certainly, definitely, など
- ② 0%系 _____
no, never, none, not...any, few / little など
- ③ 限定系 _____
only, just, merely, simply, alone など

★本文の内容を言い換えているものが○正解

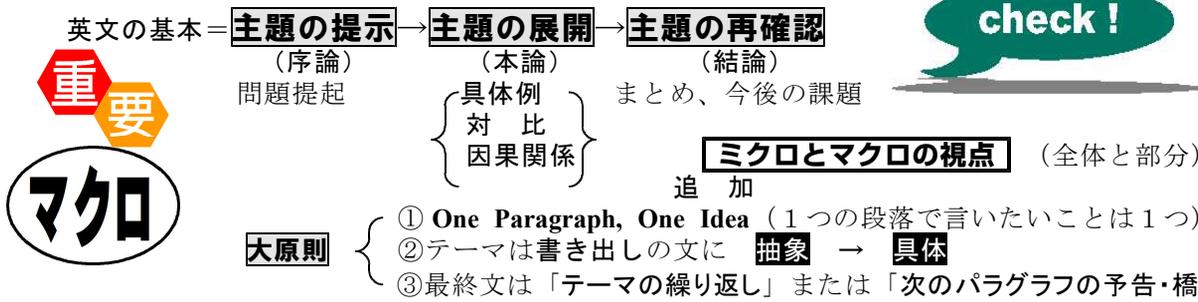
最初と最後付近をしっかり意識しながら最初から最後まで普通に読む！

筆記 第3問題C. 文補充問題の解き方

★上位と下位の差が最も大きい分野 1998年度以降のC問題を全て解いてみるのが最も良い勉強法!

(1) 第3問Cで出題される英文の特徴《難》

※「論説文」か「説明文」で基本的な展開は次の通り。



◆目標時間◆ 3問18点

8分



(2) 解法のプロセス・・・前後の文脈を正しく把握する力を見る＝つながりを見抜く力

パラグラフのテーマの把握 → 本文のテーマは第一段落冒頭にあり！ 各段落の要点は段落の最初の英文か最後の英文

- ステップ1
- ステップ2
- ステップ3
- ステップ4

本文を特に空所の直前[直後]の文に注目しながら読む！(特に直後)

《素早く正確に》 5 W 1 H 代名詞の指示内容 段落の論理構成

要確認

選択肢と直前[直後]の文との間の **連続性を示す語(句)や表現** (つなぎ語) に注目しながら、順序を考える。

- 「主題＋具体例」の段落内部の構造を見抜く (抽象的な内容・一般論→具体例)
- 段落間の相互関係にも着目
- 選択肢と直前[直後]の文に同じような単語 (派生語・類義語を含む) はないか
- 対比の表現を活用して空所の内容を推測

全体 [= 段落] と部分に注目ダ!

正しい選択肢を選ぶ。正解は本文の巧みな言い換えとなっている。選択肢の読み違いには注意されたし!

- 同じ内容を別の言葉で具体的に表現→キーワードの反復や類似した表現の繰り返しを見逃さない
- 全体を眺めても分からなければ、直前・直後をよく読んで内容のつながりをチェック

全体として意味が通るかどうか確認する。特に空所直前の文と空所直後の文とがうまくつながるかをチェックする(検算)。

- 「流れ」を確認する
- 「消去法」も有用 → 要するにこの段落は何が言いたい?

●細部の目のつけどころは次の4つダ!.....

重要

- ▶ 空所が段落の最初→空所の後を読んで、テーマを特定
- ▶ 空所が段落の中程→前文を受け継ぎ、後ろにうまくつながるもの
- ▶ 空所が段落の最後→前文を受け継ぎ、結論となるもの

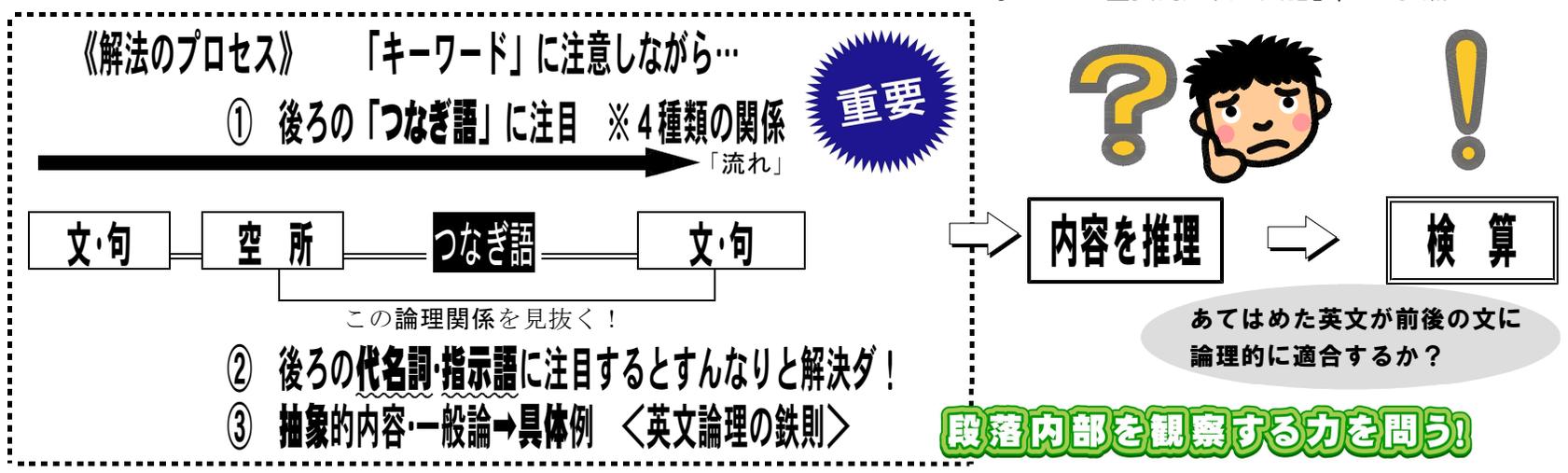
ヒント

- (1) 冠詞 (a/an～→the～)
- (2) 指示語 (名詞→代名詞)
- (3) 時制の変化 (時間順に並べる 過去→(現在完了)→現在→未来)
- (4) つなぎ語 (⇔⇒+=) ※これを見抜けるかどうかで明暗を分ける

逆接・因果関係・追加・言い換え

★代表的な「つなぎ語」は暗記すること。本書p.58 『2012重要問題演習英語』p.49参照

ミクロ



◎英文中の代名詞に注目せよ! → 指すものは90%直前の英文にあり!!



- ▶ it → 「the＋名詞」「a＋名詞」を受ける。
- ▶ one → 「不特定の名詞」を指すが、不可算名詞は受けない。「世間一般の人」の意味もある。
- ▶ this/ these → それまでに出てきた節、句、語を指す。
- ▶ that/ those → それまでに出てきた節、句、語を指す。また those は不特定の人も指せる。
- ▶ they → 複数の名詞を指す。

※その代名詞・指示語が指している要素を選択肢中に探すのだ!

筆記 第4問題の解き方 実は読解問題ダ！

「必要な情報を素早く正確に捉える力」が問われる ていねいに本文を追え！
図表・グラフにビビらない！苦手な人は「グラフ特有表現」に慣れていないのだ

◆目標時間◆ 6問33点
10分

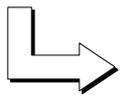
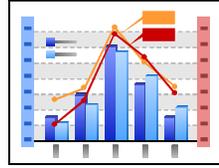


A 図表・グラフ問題

グラフ>表>地図

★2007年度はグラフ問題→2008年度は表問題→2009年度以降はグラフ問題

1. 表・グラフのタイトル・項目名を見て、その内容をおおまかにつかむ（**テーマの把握**）。→何についての調査か？
※図表・グラフはあくまでも本文のサポートに過ぎない。本文に集中せよ！
2. 設問文を読み、何が問われているかを確認する。→「**キーワード**」の確認(→本文中)
※どのような情報が出てくる？ 問われている情報は？ 選択肢は読む必要はない
3. 本文冒頭に注意する（**実験・調査の目的**）。★ココがよく問われる 「何についての文章が展開されるのか？」
4. 本文を読み進み、そこに書かれている情報を図表と対応させながら設問の答え（**言い換え**）を探す。
※正解の根拠を図表から見つけるか、本文から見つけるかの見極め グラフは後回しも可
無関係な選択肢は消去し、他の選択肢の判別へ 「図表だけで解けるのか」「本文を読んでから解くのか」

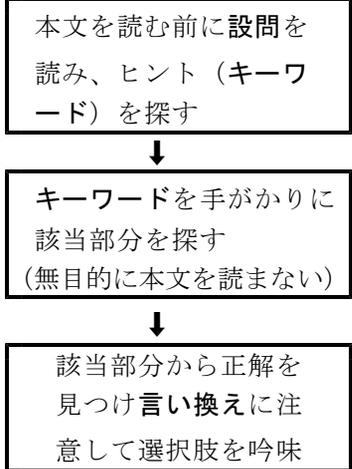
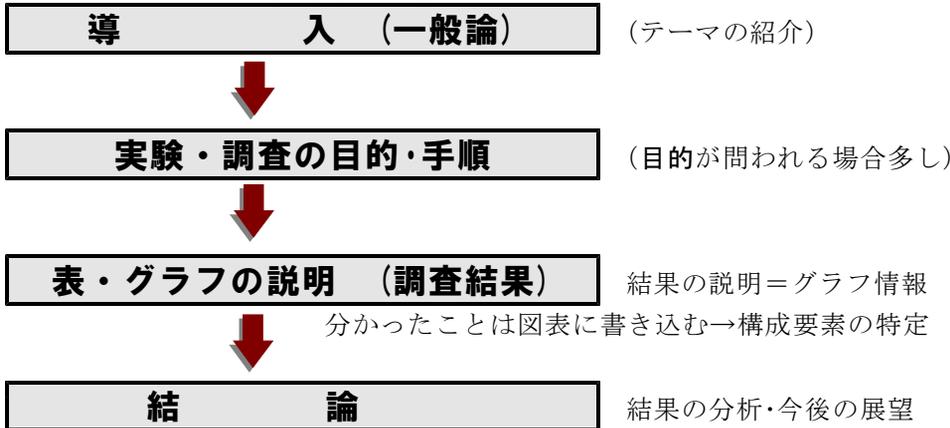


★「何が」「どこに」「どんなふう」(様子)を1つずつチェック
★図表・グラフ問題に頻出するキーワード・表現(例：増減)を押さえる。本書『2012重要問題演習英語』pp.72-73 pp.60-61
「資料よりも本文に集中」の意識で！「いつ」「何が」「どうなった」？

正解への鉄則

重要

■図表・グラフ問題の英文の特徴



選択肢と本文・グラフ・表の該当箇所をつき合わせて真偽判定を！

設問を先に読み情報を探す！！

★固有名詞(地名や人名)・年代・数字・名詞や動詞・形容詞・副詞などが「キーワード」→ ○をつけておくと有効

重要

広告文は熟読・全訳してはダメですよ！必要な情報がどこに書いてあるか探せればOK！

B 広告問題

★2007年度からの新傾向問題 慣れが大切！

●内容一致問題と内容真偽問題

1. 広告文の**タイトル**、図表の**項目名**、太字の「**見出し**」をザッと見て、何についての広告かを確認する。「探し物」の確認
①内容 ②対象 ③条件 ④期間 ⑤費用 ⑥特典 cf. 「アイドマの法則」
2. 第1の設問を読み(何を読み取る?)、**その情報のみ**を求めて、広告文に目を走らせる(「設問確認→情報検索」)。
※探している情報が見つからなくても、あわてない、あわてない。必ずどこかに書いてある。探し出せば勝ち。
設問中の「名詞」に目をつけて該当箇所を推測。 選択肢が数字の場合は計算が必要。
3. 正しい**選択肢**を選ぶ(言い換えに注意!)。同様に一問ずつ、「設問確認→情報検索」をその後の問題について行う。

④数値計算問題はひっかけ要素に注意！利用すべき数字を間違えないように注意を払う。「消去法」の活用も大切なテクニック。 TOEICに類題アリ。時間を計りながら。

<設問>→<資料>のアクセス

重要

情報検索能力

情報の取捨選択



まず設問を見て、それに答えるのに**必要な情報**(該当箇所)を**素早く**見つけ出さなさい！
設問文→検索ターゲット設定→資料内を検索
＝必要に応じた資料の利用(つまみ食い)
強弱をつけて資料の検索に臨もう！

が問われているのです

筆記 第5問題の解き方 **新傾向** 満点を狙う！

★2008年度からの新傾向問題 出題形式が変わっても「出題の意図」は変わらず

◆目標時間◆ 5問30点

10分



出題の意図は

★「文字情報」と「ビジュアル情報」の一致

～実は読解問題ダ！～ ※類題は見つけにくい

読解・イラスト問題を攻略 《新傾向》

☞ 間違いを含む選択肢を素早く消去！（消去法）

●内容一致問題＝設問文の中に「探し物」 内容真偽問題＝選択肢の中に「探し物」

2010年度センター試験よりイラスト付きの長文内容読解問題が出題されている。この種の問題の戦略を考えてみよう。

STEP 1 イラストに目を通し、何が描かれているかを確認する！ ※イラストの「異なる部分」を把握 **重要**

↓ 記号は何を表しているか。「何が」「どこに」「どんなふうに」を大まかに把握する

STEP 2 設問をザッと読む！「何が問われているか？」を確認 + **イラストに目を通し何が描かれているか？**

長文問題では「何が問われているのか？」をあらかじめ仕込んでから英文を読もう。これを実践するだけで頭に入って来る内容の密度が全く異なる。選択肢は読む必要はない。キーワードは□で囲っておく。



[何を読み取るか？]



キーワードをもとに本文検索！は変わらない

STEP 3 聞かれていることを頭に置きながら英文を読む！ 《ある出来事についての2つの観点の異なる英文》

設問中の「キーワード」（主として名詞・動詞）が出てきた箇所の近辺に「解答の根拠」が書いてある！

イラストに関する設問では、本文中のイラストの違いに関連のない部分はさっと読め！

難解な語句に振り回されない！

二つの文章の「違い」の部分に特に注意して読み進めよ！感情表現には注意



該当箇所の発見 ※設問、選択肢の名詞に○をつけておく有効

重要

STEP 4 「解答の根拠」になりそうな部分が出てきたら下線を引いてマークしておく！

何となく解答するのではなく、このように必ず「解答の根拠」の部分参照しながら、正解の選択肢を選ぶように日頃から練習しておく！

（原文典拠の法則）どちらか一方の説明を読めば答えられる問題と、両方の説明を読まないと答えられない問題がある。

④自分がどこに注目して読んだかを線を引いてマークしておく頭の中とテキスト中に思考の痕跡が残り好都合

内容一致・真偽問題の正解の選択肢は、本文からの同意表現による「言い換え」である



STEP 5 その「言い換え」の選択肢が正解だ！不正解は「スリ替え」

正解（○）の選択肢は、根拠の部分の「言い換え」となっていることがほとんど！

→「言い換え」を探せ！ 本文に書いてある文字情報だけで解く！

間違い（×）の選択肢は一部分が「スリ替え」られている。第6問題も同様である。（次ページ参照）

絵と突き合わせて本文を読み、矛盾点の見つかった説明文・絵を消去していく（消去法）。

言い換えの発見！！
（→同意表現の作り方）

- ① 同意語・反意語で書き換え
- ② 熟語⇔単語 の書き換え
- ③ 文法上の書き換え
（例）態 法 肯定⇔否定
節⇔句

■イラスト一致問題の解法は？→「何が」、「どこに」、「どんなふうに」？をチェックせよ！

1

英文を1文ずつ読み、何を言っているのかを確認する（**文字情報の把握**）

必要な情報を取捨選択（下線を引いたり印をつけてマークすると効果的）

★動き、位置、方向、形状、大きさ、色を表す表現に注意！ 事件や動作に注意

2

イラストをよく見て（**ビジュアル情報の把握**）、異なる部分を見定めつつ説明にぴったり一致するものを探す

①～④のイラストに条件を当てはめる

●イラスト問題とはいえ、「言い換え」が英文かイラストかで異なるだけの読解問題と考えてよい。

重要

何が(what)

どこに(where)

どんなふうに(how)

をチェック！



★イラスト読解のポイント

3

1か所でも異なる点があったら候補から外す（消去法）。全ての条件に一致するイラストを選択する→ **正解**

筆記 第6問題の解き方

★2008年度に素材文が「物語文」から「評論文」に変更
「正確な読解力」+「論旨の流れを追う力」が問われる



重要

段落「テーマ」発見のテクニック

- ①パラグラフの書き出しと最終文は要注意！
- ②「疑問文」は要注意！（問題提起）
- ③「しかし」の後は要注意！

一般論 → **but** → 筆者の主張

◆目標時間◆ 6問36点

23分



※上位と下位で大きな差がつく

最も長い文（700～800語）

★解答の根拠を明らかにする習慣を！★

正解は必ず本文中にある/ダ！

1. 設問文をザッと読み、本文全体のテーマに関する情報を仕込む。 ※選択肢は読む必要なし！
2. 設問中の「キーワード」（名詞・動詞・場所・時間）を本文中に見つけて、その前後を読む。 **重要**
3. 各段落のテーマは、最初か最後に来ることが多い。段落ごとに「言いたいことの中心」を把握。
★「日本語に訳す力」ではなく「英語を前から英語として読み、内容を理解する力」
4. 明確な根拠となる英文を探し、正しい選択肢を選ぶ（言い換え）。1問ずつこれを繰り返す。消去法も。

※本文と問を往復しながら、問題は上から順番に解いていく（設問は段落順） 「原文典拠の法則」に忠実に！
★『2012重要問題演習英語』pp.142-144の「言い換え表現リスト」を一通りチェックしよう

★段落相互の関係に着目せよ！

※各段落の要点を一言で余白にメモせよ

解き方

※真偽の判定は必ず本文に記述されたことを根拠として行うこと。

★速く正確に！



本文を一読して
大意を把握

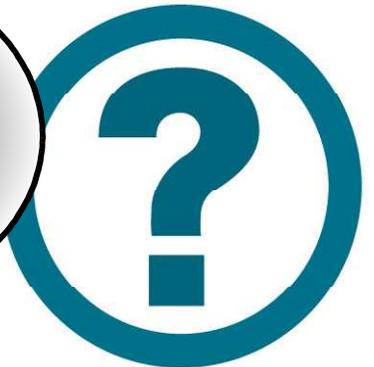
●各段落のテーマを伝えている部分と例を示している部分を見分ける



《内容一致問題のポイント》

本文のどの箇所に設問のポイントが書かれていたか検索
「キーワード」がヒント

「原文典拠の法則」



★練習の時は声に出して英文を読むべし！

SKIMMING

（マクロの目）

「見た目は違えど意味は同じ」

を見抜くのだ！

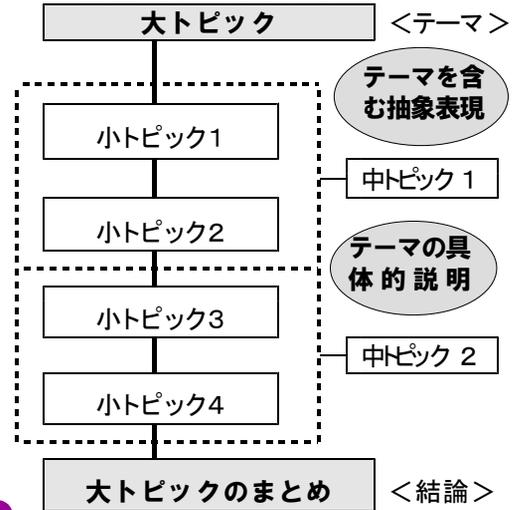
そのためには過去問演習が一番！

SCANNING

（ミクロの目）

★「設問→本文」の繰り返し

■論説文の読み方



❖ 間違い→すり替えのパターン具体例10 ❖

- (1) **人物**のすり替え
「...と私は言った」→「先生は...と行った」
- (2) **肯定・否定**の逆転
「常識は役立つ」→「常識を使うことはできない」
- (3) **時間・場所・頻度の副詞要素**のすり替え
「そこに行く前に」→「そこにいる時に」
- (4) **数量表現・数量**のすり替え
「ほとんど知らない」→「よく知っている」
- (5) **因果関係**のすり替え
「AゆえにBである」→「AなのはBだからだ」
- (6) **条件関係**のすり替え
「XならばYである」→「XであるのはYの場合である」
- (7) **過度の一般化と過度の限定**
極端な単語・強い限定語句を付加して誤りの記述を作る
- (8) **事実と比喩**のすり替え **主観的表現**
事実を「～のようである」とすり替える
- (9) **前半○後半×**のパターン
正しい前半部に誤った描写を付加して間違いの記述を作る
- (10) **意味の故意の取り違え**

×のことが多い

No Good

●極端キーワード●

- ①100%系・・・all, every, any, always など
- ②0%系・・・no, never, none, not...any など
- ③限定系・・・only, just, merely, simply, alone など

要確認

注
意
り
で
替
え
す
に



センター対策三大要素

- (1) 頻出知識の充実
- (2) 効率のよい解き方の確立
- (3) 時間配分の練習

★ どれ1つ欠けてもダメ！
過去問を中心に勉強せよ！

★時間切れの時は「長さの法則」（裏技）を活用

★本書pp.71

リスニング 第1問 対話文イラスト選択問題 30分

※2往復の会話 ※イラストはあらかじめ見比べておきそれぞれの違いを確認しておくといよい 《易》 満点を狙う！
※キーワードは次の3種類： ①<会話の中心的話題>に関する語句 ②<場所・位置>を示す語句 ③<数字>に関する語句

鉄則 設問・選択肢を先読み(何を聞き取ればよいのか?) → **メモ(特に名詞・数値は)をとる習慣を(キーワードのキャッチ)**

- ★1回目 — キーワードのキャッチ<一発問題> ※消しゴムは使わない
- ★2回目 — キーワードの周辺情報、流れ<足し算問題> **注意!**

※内容は「場面型」と「話題型」の2つに分かれる 疑問詞に注意!

◆ 設問文や選択肢など紙面に印刷された情報には、事前に素早く目を通しておくと、何を聞き取るのかという<目的意識>が生まれ集中力が高まる。また会話の「流れ」も予測できる。

リスニング 第2問 対話文応答完成問題

<会話の大原則>

- ルール1! 疑問詞(Wh-)で始まる疑問文 → Yes/Noで答えることはできない!
- ルール2! Whatで始まる疑問文 → 名詞(句)で答える!
- ルール3! Howで始まる疑問文 → 形容詞(句)か副詞(句)で答える!
- ルール4! 依頼・勧誘・申し出・提案に対する答え方 → 「承諾」か「拒否」!
- ルール5! 親切的な発言・援助・ほめ言葉に対する答え方 → 「感謝の言葉」!
- ルール6! 空所の前後で同じ表現が反復されている場合 → 「聞き返し」!

+ ★会話頻出表現を覚える

比較的差がつく問題

Q&Aの中心となる動詞句に着目!



● 選択肢を素早く正確に読む練習

鉄則 細部の表現+対話全体の構図(登場人物・人間関係・状況)を素早くつかむのがポイント → 最後のセリフに全力を傾注

- ★1回目 — 最後のセリフ → これで決まる場合も ※①平叙文 ②Yes-No疑問文
- ★2回目 — 全体の構図を再確認(特に最後のセリフの1つ前のセリフ) ※③5W1Hの疑問文 の3つ

④2回目をきちんと聞いていない人多し(選択肢を読んでいる)

ココまで全問正解を目指す!

リスニング 第3問A 対話状況把握問題 (第1問+第2問の発展バージョンだ)

※会話中で話が二転三転(どんでん返し)することに注意! 無意味な音声をはさんでわかりにくくすることも

鉄則 設問と選択肢を先読みポイント絞り込み → 5W1Hの把握 → キーワードのキャッチ → 構図を再確認

- ★1回目 — キーワード(第1問) + 最後のセリフ(第2問)をキャッチ
- ★2回目 — 全体の構図の再確認(含意の理解も) ※会話特有の応答表現・質問文の主語にも注目



リスニング 第3問B 長文対話イラスト問題 《やや難》 ※語数はAの2倍

<3問同時進行>

※余計な情報あり→解答に必要なキーワードだけを拾う(リスニングスタミナ必要)・・・足し算問題の可能性

鉄則 場面説明と設問・選択肢を先読み → キーワード・表のキャッチ → イラストの中にメモ・線・印を随時書き込む

(何を聞き取ればよいのか?) 時間軸・空間軸・データ比較を追いながら情報整理

- ★1回目 — キーワード(数・名詞)を確実に拾う 設問順通り
- ★2回目 — 周辺情報を押さえる ※聞こえた音につられて勝手な推測はダメ

● 英語を聞き取る練習+素早く設問に対応する力の2つが狙い

「あとさき」「位置関係」「差」に集中

リスニング 第4問A 短文内容把握問題 (1つのテーマ)

※英検2級類似問題

《難》

※聞いたこともないような特殊な表現や固有名詞を出して、意図的にあわてさせようとする問題あり!

①部分把握型 (長い文章の中に隠れた細部) → キーワード どの情報に的を絞って聞く?

《難》②展開把握型 (文章全体の要約的要素) → 全体的イメージ→最初と最後

「ジグザグ」に「余計な情報」と「必要な情報」が入り交じって出てくる。必要なものだけをゲット!

鉄則 設問と選択肢を先読み(何を聞き取ればよいのか?) → 「真の情報」(メモ)と「余計な情報」を峻別して聞く

※設問文は全て疑問詞で始まる→解答の中心となる名詞を耳で追いかける 完全を追いかけてすぎない

リスニング 第4問B 講義問題 《最大難関》 ガチンコ勝負だ!

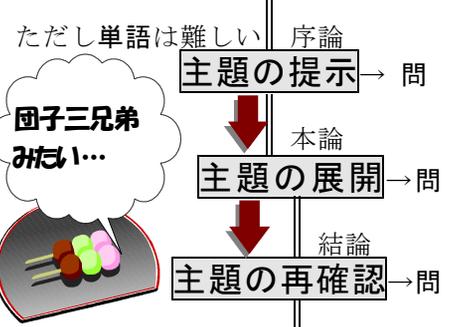
※英文のボリュームにうろたえるな! 部分把握型問題をタテに3つつなげただけ 1問ずつ順番に(リスニングスタミナ必要) 話の展開を予想しながら聞く練習を!(団子三兄弟)

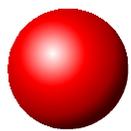
鉄則 設問を先読み(何を聞き取ればよいのか?) → 聞きながら重要ポイントをメモ

- ★1回目 — 大まかな内容を把握・・・パラグラフごとに若干のポーズあり <この間の45秒を有効に活用して選択肢を読む> **時間との闘い**
- ★2回目 — 細かな事実はまだ注意を払って聞く・・・パラグラフごとに設問

※英検2級・準1級の問題が練習に役立つ!

※「つなぎ語」の知識は第1問~第4問全てで重要となる 本番直前まで「耳の回路」を作る!





最終アドバイスです

「量」をこなした者が勝利する！



～焦らずに一步一步着実に前へ！

【第1問題】 過去問を古い年度まであたれ！ 頻出語アリ！

- ☞ 頻出語、頻出發音があることに気づく（狙われる単語は何回も出題されている）→頻出語の音読
- ☞ 「カタカナ語」は厳重チェックせよ！本書pp.9-13を信じて徹底的に音読を繰り返せ！→満点を狙う！
- ☞ 「アクセント基本ルール」はマスターしておこう！

【第2問題】 過去問が最高の予想問題＋問題集1冊を完璧にあげる

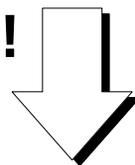
- ☞ 不正解の選択肢が後で正解として登場したり、過去問からそのまま出題されたりする 演習あるのみ！
- ☞ 「重要会話表現」の暗記→空所の直後、直前に着目する練習←語彙力を鍛えて
- ☞ 語句整序は100問ほど練習せよ！ポイントは「S+V+O+C」と「後置修飾」の2つ



ココから読解スタート

【第3問題】 解き方を体感して過去問、予想問題にあたれ！

- ☞ 日頃から辞書に頼らず単語の意味を類推する訓練
- ☞ 筆者の言いたいことを一言で要約する練習→最初と最後に注目する習慣を 中はサッと
- ☞ 文意の流れや「抽象」と「具体」に着目 マクロとミクロの視点を！



【第4問題】 図表問題頻出の単語を押さえた上で、過去問にあたれ！

- ☞ 図表・グラフ問題の頻出語をしっかりと暗記
- ☞ 形式に慣れるために過去問演習が一番！<設問>→<資料>のアクセス

全ては正確な
解釈から始まる！

【第5問題】 語彙力を鍛えて読解力を養成せよ！

- ☞ 語彙力を増強→動き、位置、方向、形状、大きさ、色を表す表現をしっかりと押さえて
- ☞ 絵と突き合わせながら説明文を読み、矛盾点の見つかった説明文・絵を消していけばおのずと正解に到達する
- ☞ 内容一致・真偽問題の正解の選択肢は、本文からの同意表現による「言い換え」である

【第6問題】 精読の習慣を 確実に正確に読む！音読も有効！

- ☞ 設問に先に目を通して「どの段落を参照すべきか」を頭に入れながら各段落を読む
→読み終えた段落の設問はその都度解いていくのがコツ
- ☞ 「1段落1テーマ」を体感しながら設問を解く練習→「段落要旨」を一言でまとめる訓練を

「読」から「解」へ

▶音読…ただ声に出して棒読みするのではなく、文の構造（主語・動詞・修飾語・接続詞・節など）を意識して意味を浮かべながら読むのがポイント

【リスニング】 できなかった練習問題のスキriptと音声を聞き比べ聞き取りの坎を養え！「音読」を怠るな！

- ☞ CDの音声をテキストを見ずに聞く→真似して発音→聞き取れなかった箇所をテキストで確認→ナチュラルスピードで音読
このサイクルをひたすら繰り返す 「全部完璧に聞き取らなければならない」と思わずに
- ☞ 第1問のセリフを2回聞いて正確に書き取る（ディクテーション練習）→一つ一つのセリフがよりはっきり聞こえてくる
- ☞ 「キーワード」のキャッチと「全体の流れ」を聞き取る練習
- ☞ 印刷されている情報（設問文・選択肢）の特徴をサッと把握し聞き取りのポイントを絞る→「待ち伏せ」へ
- ☞ 追い込みの時期には弱いジャンルの問題に絞って徹底的に練習してみることが有効

- ✎ 過去問は秋以降 最低でも本試・追試10年分はさかのぼる！
- ✎ 自分に合った「解く順序」「時間配分」を明確にし、過去問などで演習！ →「情報処理能力」を磨け！！
- ✎ リスニングは「待ち伏せ」ができるかどうかがかギ！